

モニタリング結果報告書

施設 かながわアートホール
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 神奈川県県民局くらし文化部文化課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A: 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
 B: 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
 C: 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
 D: 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
5月	6月10日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
6月	7月8日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
7月	8月9日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
8月	9月9日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
9月	10月7日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

県の環境方針への配慮に関する取組みについて、省資源・エネルギー節減の対応等を提案した。

<実施状況>

- ①ホワイエ2階の照明器具を消費電力が少なく長寿命のLEDのものにした。
- ②天井扇風機の設置、網戸の設置を可能な場所に行いエアコンの使用頻度を少なくした。
- ③夏期節電については、節電実行計画に基づき、特別に取り組みを行った。

デマンドコントローラーを設置し最大消費電力の15%抑制を図り、達成することができた。具体的取組みとしては、事務所照明・空調の節電、パッケージエアコンのホール2・ホワイエ1の合計3機の空調運転方法の工夫(3機フルでは15%削減できないため、そのうち2機の組み合わせで運転)・エレベーターの運転停止等を実施した。

<提案内容の概要>

事業の実施に関する業務について、神奈川フィルとの連携によるカジュアルコンサートの実施及び、自主事業として子供向けの内容に重点を置いたコンサート「キッズコンサート」を提案した。

<実施状況>

カジュアルコンサートの実施及び来場者 平成23年9月24日 入場者数:230名
 (自主事業)子供に重点を置いたコンサート「キッズコンサート」の実施日及び来場者 平成23年4月24日 入場者数:203名

<提案内容の概要>

音楽情報コーナーに関する業務として所蔵のCD及びDVDを活用したコンサートを提案した。

<実施状況>

実施日及び来場者 4月4日:12名、5月20日:14名、6月11日:6名、7月20日:15名、8月19日:43名、
 9月17日:31名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額	125,320	105,060	15,960	4,300	125,320	0
今期（前期）	(125,268)	(105,048)	(15,680)	(4,541)	(125,268)	(0)
上半期 予算額	51,064	40,936	7,980	2,148	51,064	0
4 月	2,796	1,500	1,293	2	1,373	1,423
5 月	7,716	6,000	1,424	291	9,363	△1,647
6 月	11,965	10,500	1,107	358	10,246	1,718
7 月	7,992	5,730	1,539	723	9,302	△1,310
8 月	11,159	9,399	1,435	324	10,510	648
9 月	8,773	7,807	942	24	7,273	1,500
今年度 半期計	50,404	40,936	7,743	1,725	48,071	2,332
前年度 同期計	53,063	43,019	7,714	2,330	51,281	1,782

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

・該当なし

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	
下半期	—	
総額	0	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

・該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	4,850人	5,206人	△6.8%
5月	3,940人	4,118人	△4.3%
6月	3,549人	2,879人	23.3%
7月	5,223人	5,070人	3.0%
8月	3,847人	3,692人	4.2%
9月	3,514人	4,339人	△19.0%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度計	49,000人 (年間目標)	24,923人	25,304人	—%	△1.5%

利用状況に関する意見等

- ①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
5月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)
8月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし。	
職員対応	・特になし。	
事業内容	・特になし。	
その他	・利用に関する書類が多い(1件)。	・省略できる書類を検討。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

・該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

・該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			

9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>前年度に引き続き照明器具のLEDタイプへの更新を実施、施設運営における省エネルギー化を推進した。今後も予算を見ながら白熱灯・蛍光灯を順次変えていきたい。特に前期は、夏期の電力量の抑制に向けて、最大消費電力15%抑制を目安としていたが、達成することができた。その他には、オフィシャルアカウントのツイッターで施設の空き状況の最新情報を公開し、利用者増を図っている。今後もさらに省エネを図りつつ県民に対し利便性を向上させた施設運営を行っていく。</p>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none">・事業の実施については、神奈川フィルハーモニー管弦楽団との連携による「カジュアルコンサート」の実施や、自主事業の子供向けコンサート「キッズコンサート」の実施等、地域の方々に音楽に親しんでいただき、身近に音楽を体験できる環境を提供するための企画に工夫をこらしており、観客の満足度も高く成果をあげている。・館の運営管理においても、利用者に配慮しながらの節電への対応等、概ね良好な管理運営がなされている。・引き続き、多様化する利用者ニーズを把握し、インターネット等での広報を幅広く実施するなど、利用者への情報提供、サービスの向上を図ることで、利用率向上に努めていただきたい。